

五畿内産物圖會

和泉之部

4204
2



4204
2



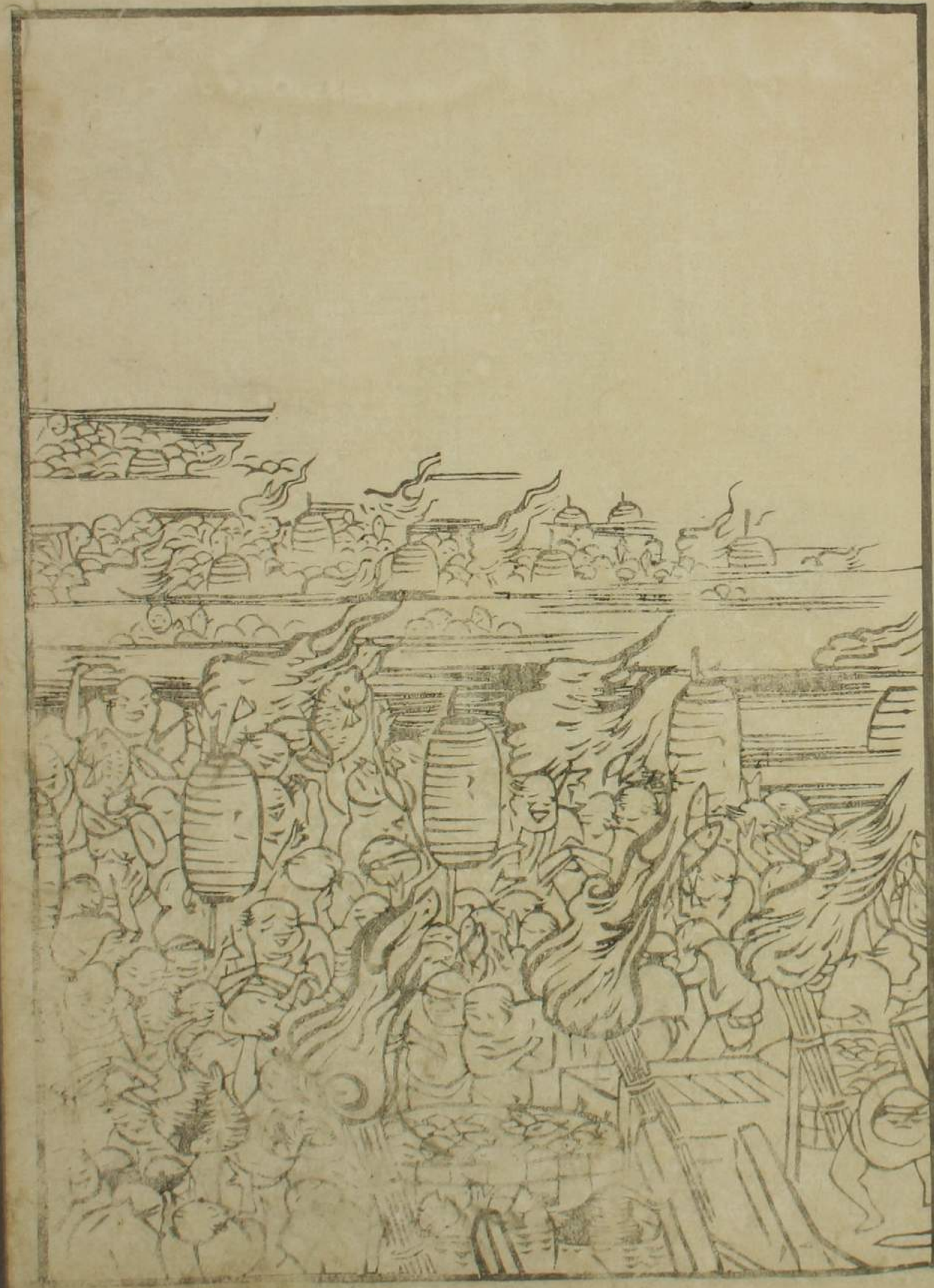
和泉國見
耶希志乃



天保六年子




昭和三十二年五月六日寄
市島謙吉 贈



堺魚市

さくら網うり人おほき市わたり
 くらねたさとしくしん

真治

サ
 心
 力
 子


おひやきし

市場の朝あし

東霞

おとせりの

舞とさる

市の穀

世不巻

桃處





サカイ 玉泉寫



金光寺藤

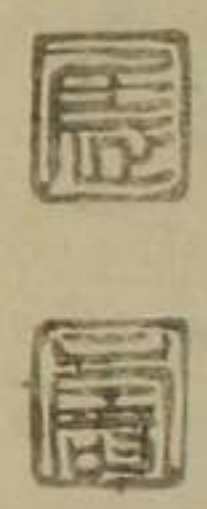
いさもねむしーあふに古ちれ
みさうふさける藤かまのむ

サカイ 祐之



妙國寺蕪鉄

サカイ 均 蕪寫



多つめと

重をれも

ちと

後

こが

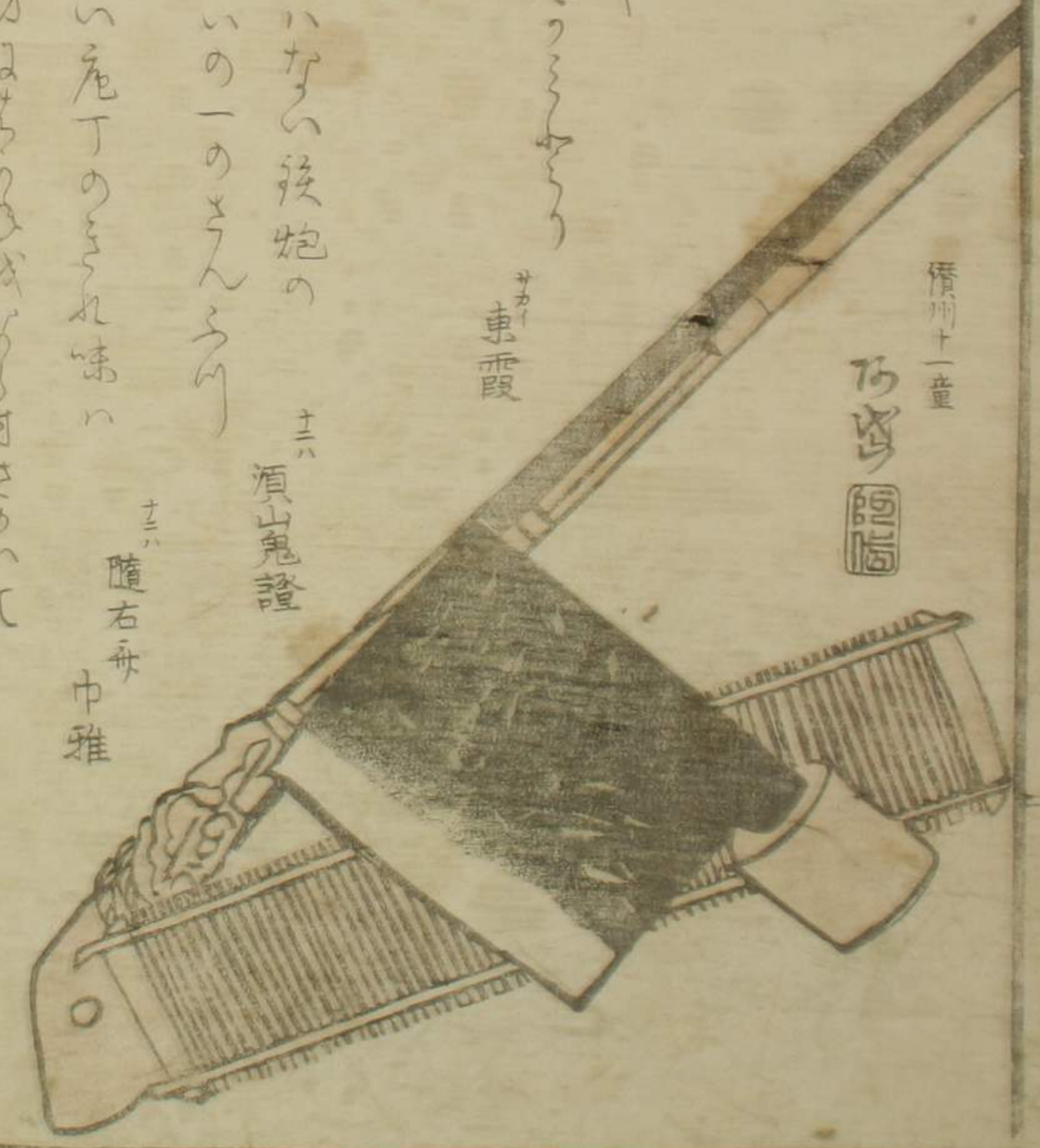
サカイ 東霞

堀ふさ
後丁
後泡

切味をうぬわ
お地のこころ

いつくにもうらなかな後泡の
おしやきといののさんらん

ころりめきた よい危丁のそれ味の
に方またろくみ成かうすさういて



備州十一童

乃寧 隨

東霞

須山鬼證

隨右舟
巾雅

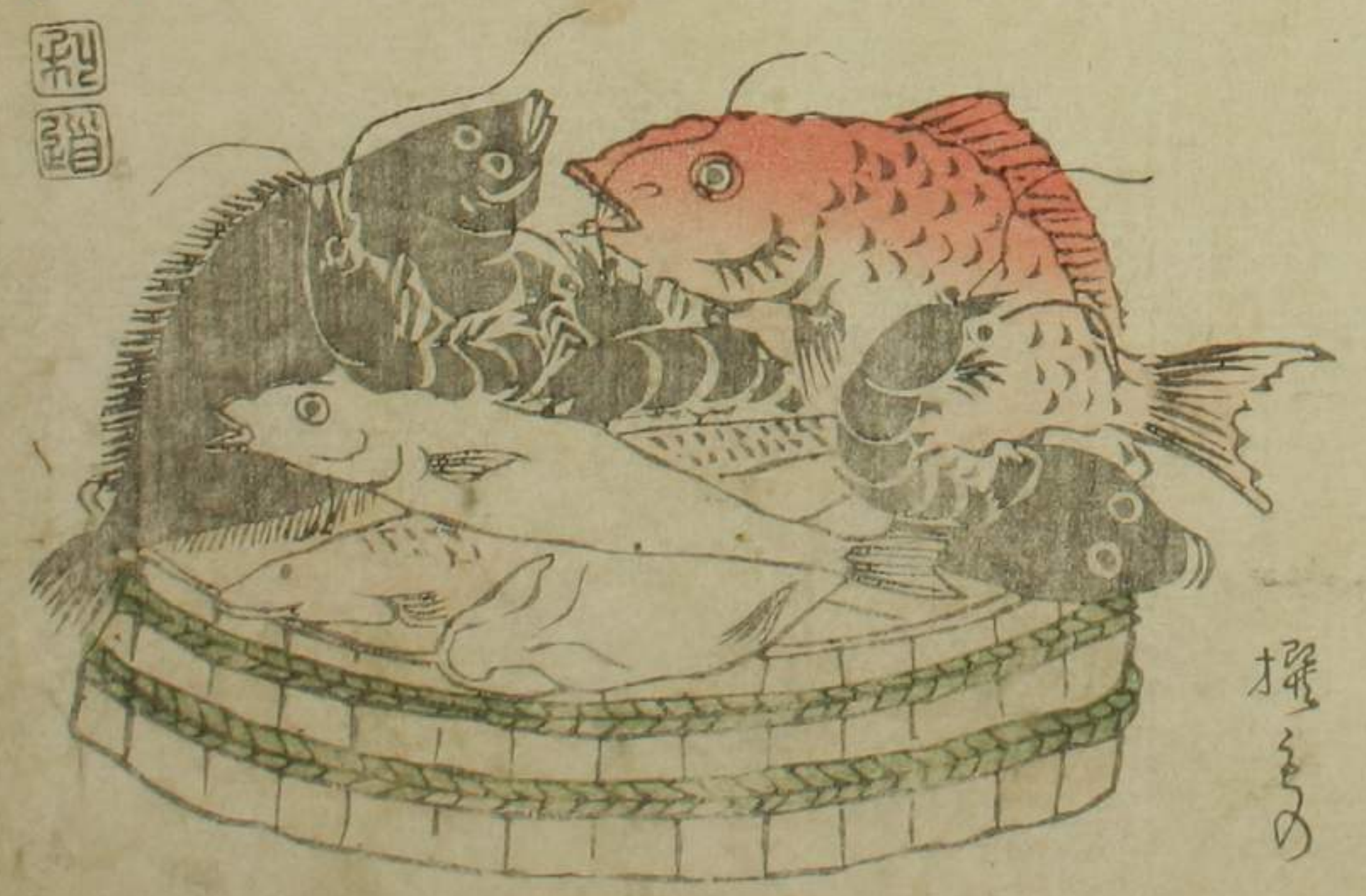
せうりふ

昭戸橋と堀海

東霞

各なりして君さぬまいせ
義ももろふれり場の内な
よりもの
休養曲
す松

十二八
利道画 随



掬もの

少林寺竹

浪志堂頂より
桃苗

招去の伯翁主小

そはく杖と

せくに松英杖

少林寺竹

東洋



十二八
ア羅明



十二八
湖水

一体のうらみ解ハ風船を
アアハ後ハもかどしとア

空れ扱又啼ぬ鳥を我も父も
生れぬささ此一体の草

十二八
力丸

舳松村真凡

戀^{ヒス}尋^子来^テ見^ヨ和^泉成[。]
凡^ハ貴^ニ舳^松村^ノ出^生
東^寺美^濃皆^ハ雙^脚
就^中香^氣似^シ其^名

南紀
松丘



浪花

高き甘指画

秋^ノ立^タた^レた^石の^{つら}小^きと^{して}

栗^ノ川^ノ流^ルう^{こと}や^いまた

賢^サ受

尾^を越^えて^くく^らや^をこ^えて^席みる

東^ノ震



寺^栗

石^子虎

まぬや

まぬや

儀壺一尺

杉村あゝ多

近兼 掃

土井原 鋸

讀嘉十二童

田 畠

編笠や木のあはれ

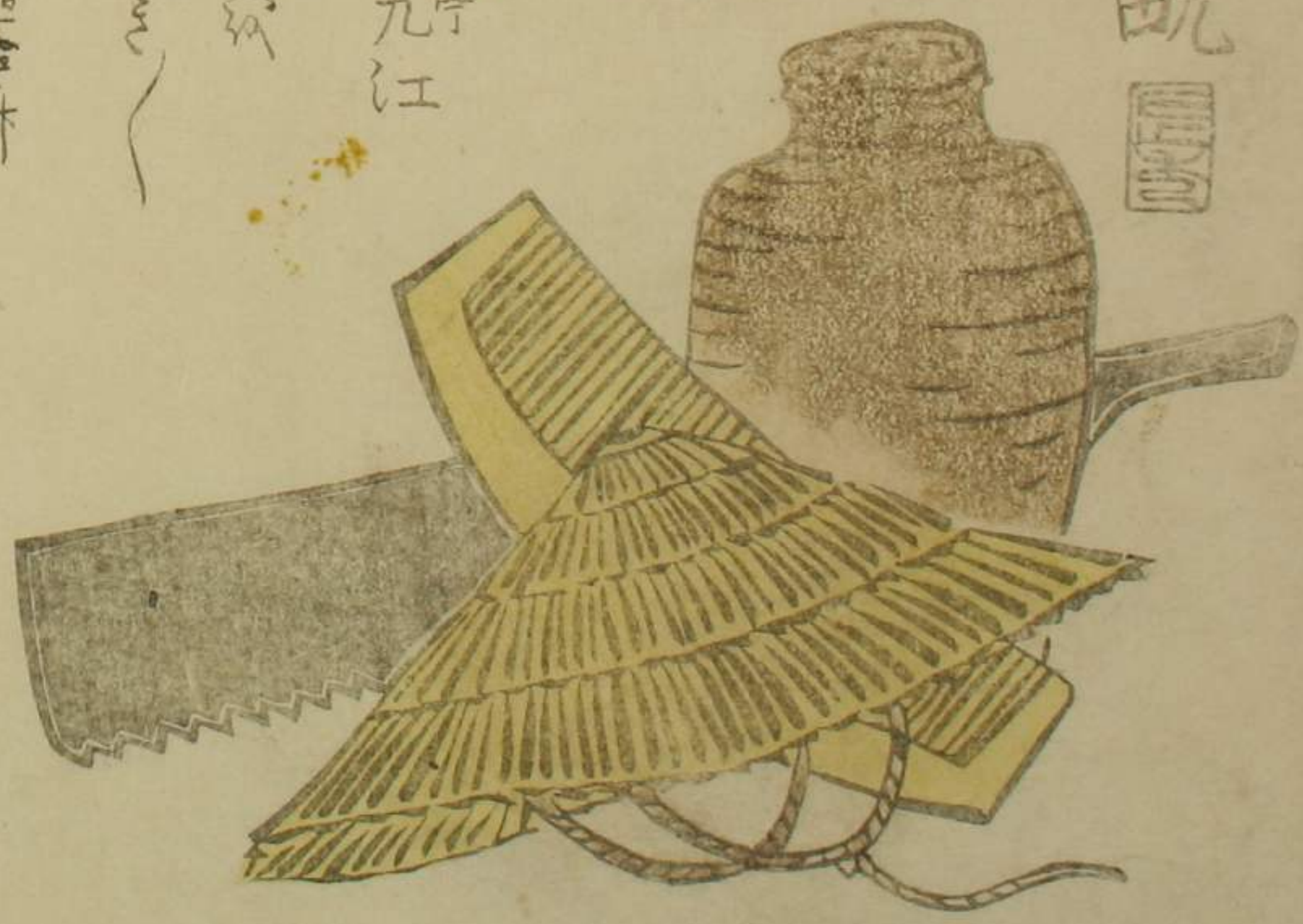
村の冬

泉南如斯亭 九江

馬鞍をいつおき印しや務れを
引くもねるよ買ももささく

浪若酒古軒

中 雅



雲のうちふやさいたせとや白妙ふ
よま山炭の

をとりての

サカイ

直勝

限花

素軒



横山炭

漆焼

紙



ちまの桶

泉南
英昌

うらてたは信田の表の葛けはうらえよとてや秋風そ吹
 是も又かなとわし事志のふかてちえ〜とよふ森の桶
 うたはも精風ふいてくをけるの志の〜れあうら〜ちか

泉南
天王寺
燕坊
泉初
綱丸
遙休



春のゆね

手〜りふへ

新波はのむ〜〜〜とほ〜あ〜ふも
 うきこくふの山の〜〜〜

右 三玉山の廟在原の神

ガイ
直治

三國山左原社

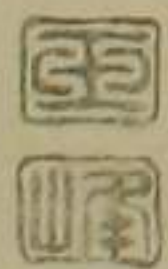


月ぬらしてまりのされまにありそと
 さやうにうける所のとりと

泉南
 閑子

白方多
 玉峰画

蟻
 通
 社



名真極秀
 時年十又一



牛瀑山頭秀碧空飛
 泉百丈白雲中曲看
 旦夕雙峰色錦繡添
 成青女工

泉南
 華陽晁道恒

涼くしそ葉とやうてそそふふふ
 あぬうしけの山れふらし

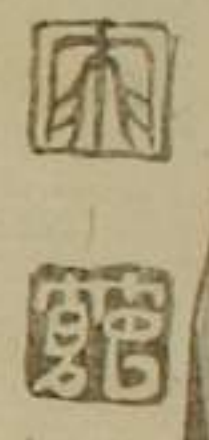
サカイ
 齋

大津島

佐野木路



泉南飛
節寫多
川石



ふ代ハ子代むと水間の
玉つとささつとぬと吐

枝とうけし

泉南
信之

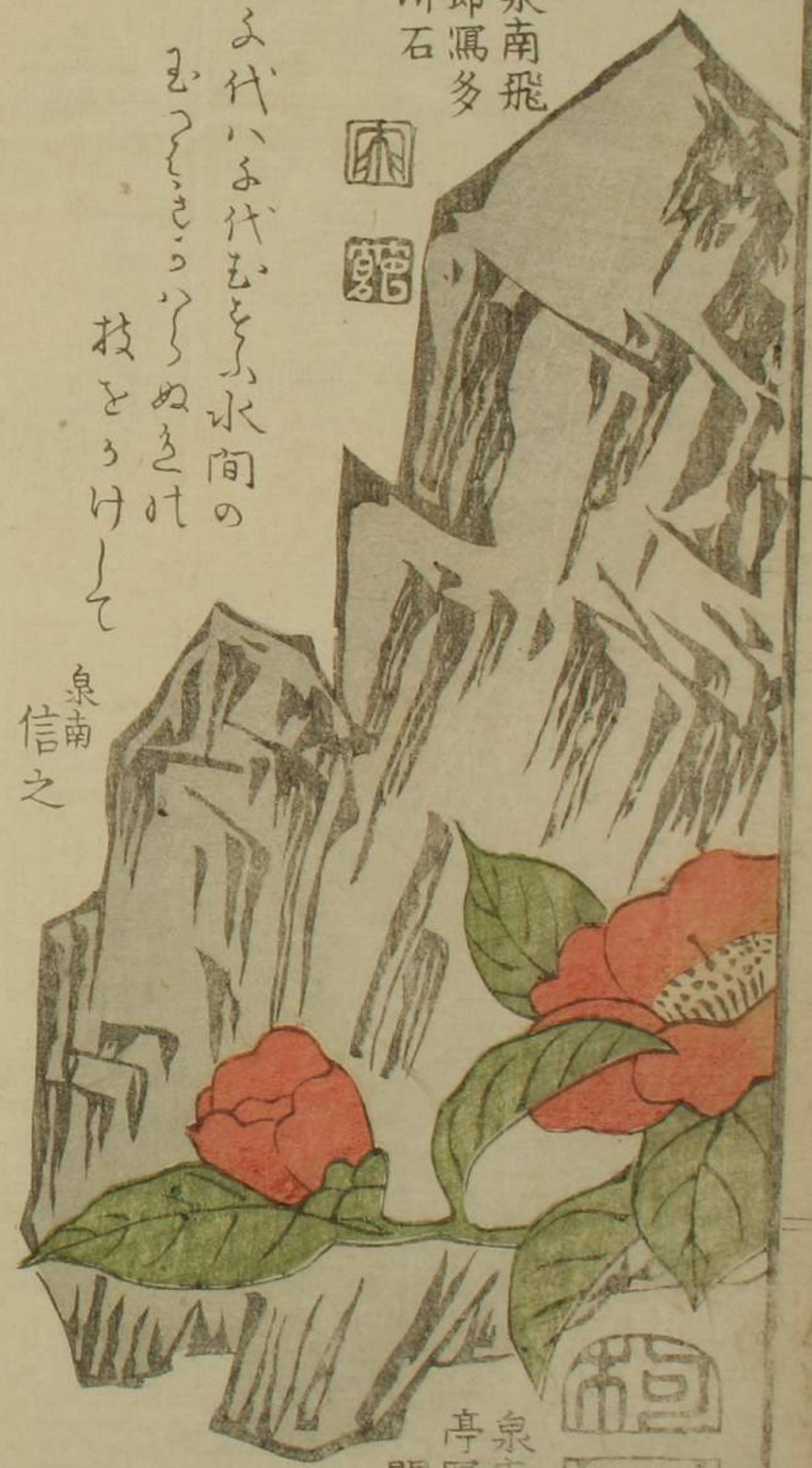
悉をたうけては習くありち

懐れこれと連理ふることく

浪花
巾雅

落流いて飛入はととと括口とたハ水間の流のひとと物と

泉南
綱丸



泉南
間椿
亭



多川石

是是隕星化水痕
千斤堆碌く何應
比削成不朽材

泉南
東沼

折舞や苞の音

配る玉れ寫

泉岸
不濁



金熊寺松茸

赤土

之とろ

泉南岸城

如斯亭寫

楊毒也

大本の後の

人た

泉南
奇峯

秋の志あ

うくふい

飛節

りれ急

水より深し未泉海鏡

二龍

鯉海田和岸



岸和田
い

鯉魚

俗作鯉非也和名伊波志
納之鹽曰非志古

第海秋風下網辰

鯉魚活廢集清蘋

非關張翰思鱸膾

尤美東方青玉鱗

泉南
清定

泉南
舒嘯



イナバ
五石

桑田斤身魚

離別聖賢友此生似老莊

田家藏稻日專要避糟糠

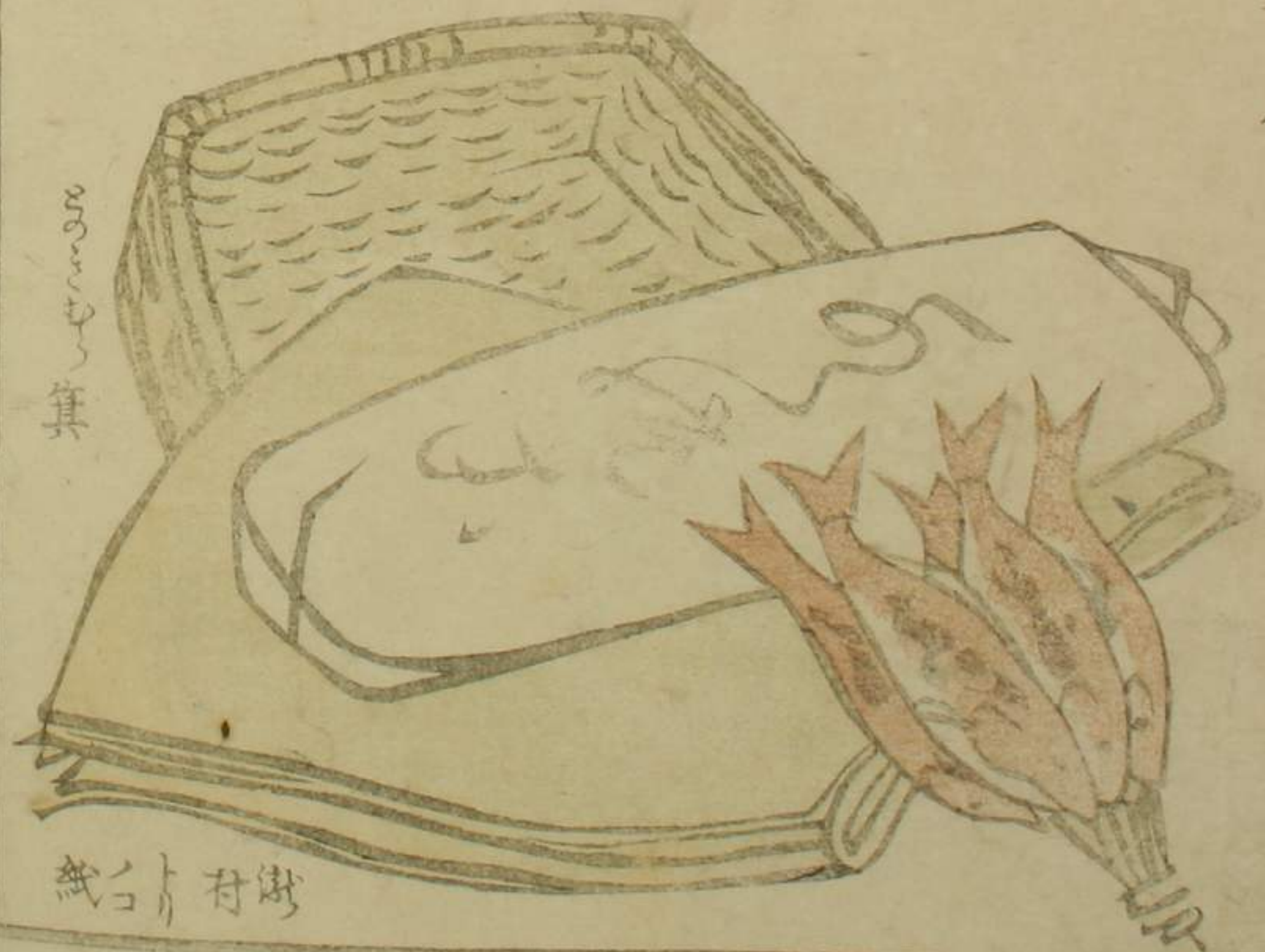
免之木邑箕 泉南 山芝園題

さしはうとまゝの粉れ水の味

泉南 雪江

をれよの紙やかうそのまじり

泉南 竹亭



さしはう箕

幾台村樹

岡田鯉

泉南 釣耕

泉南 洞鴻斎画



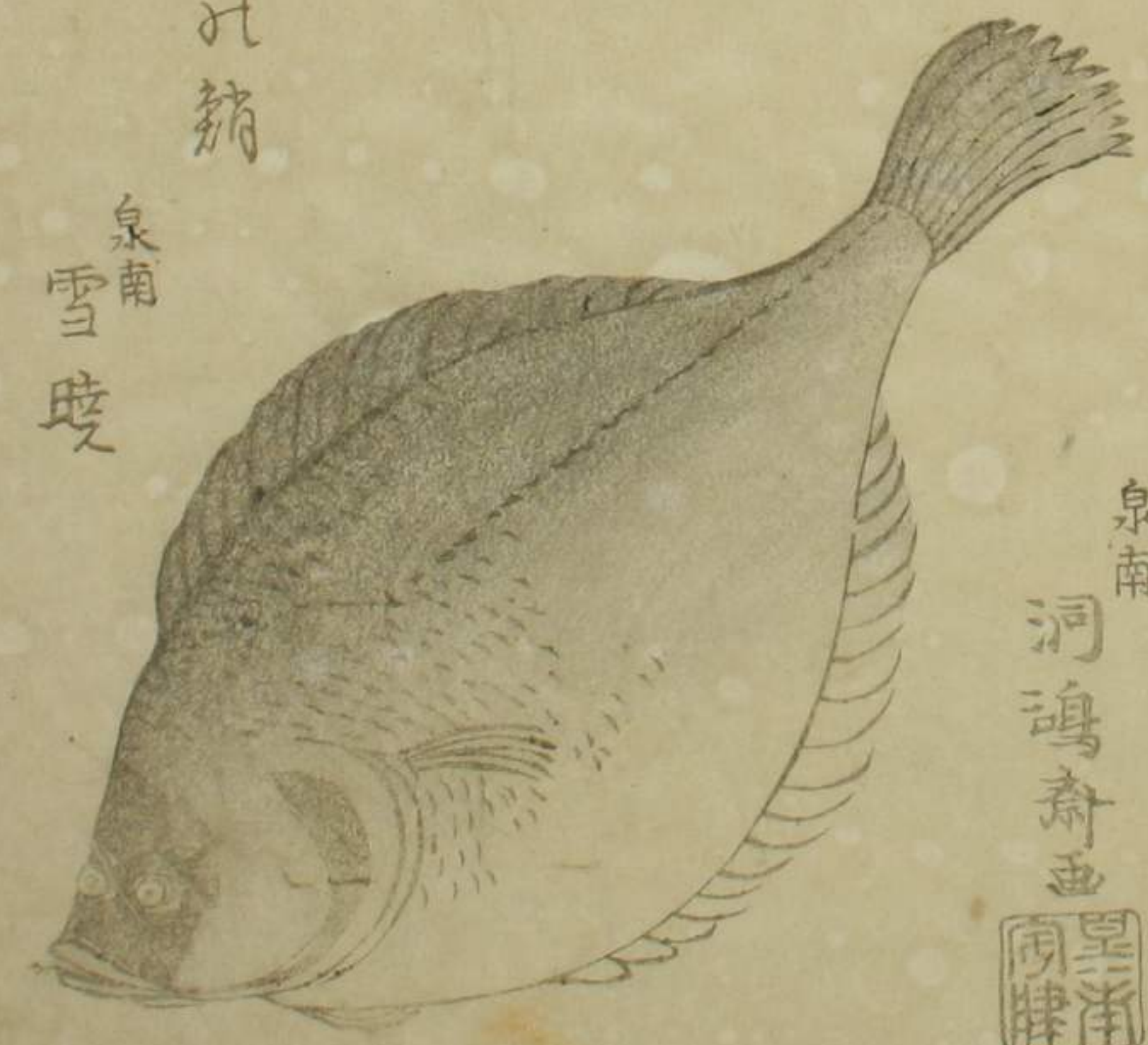
黑白分鱗色合行比目魚

第停生美味盤上賞玉餘

烈へよハ秋と

美のろ布まじり

泉南 雪江



香山画



目出川たま

国田浦小鮎漁之巻

泉南



あまらるゝこと

や——へて

海のちりれ

たまて

~~~~~

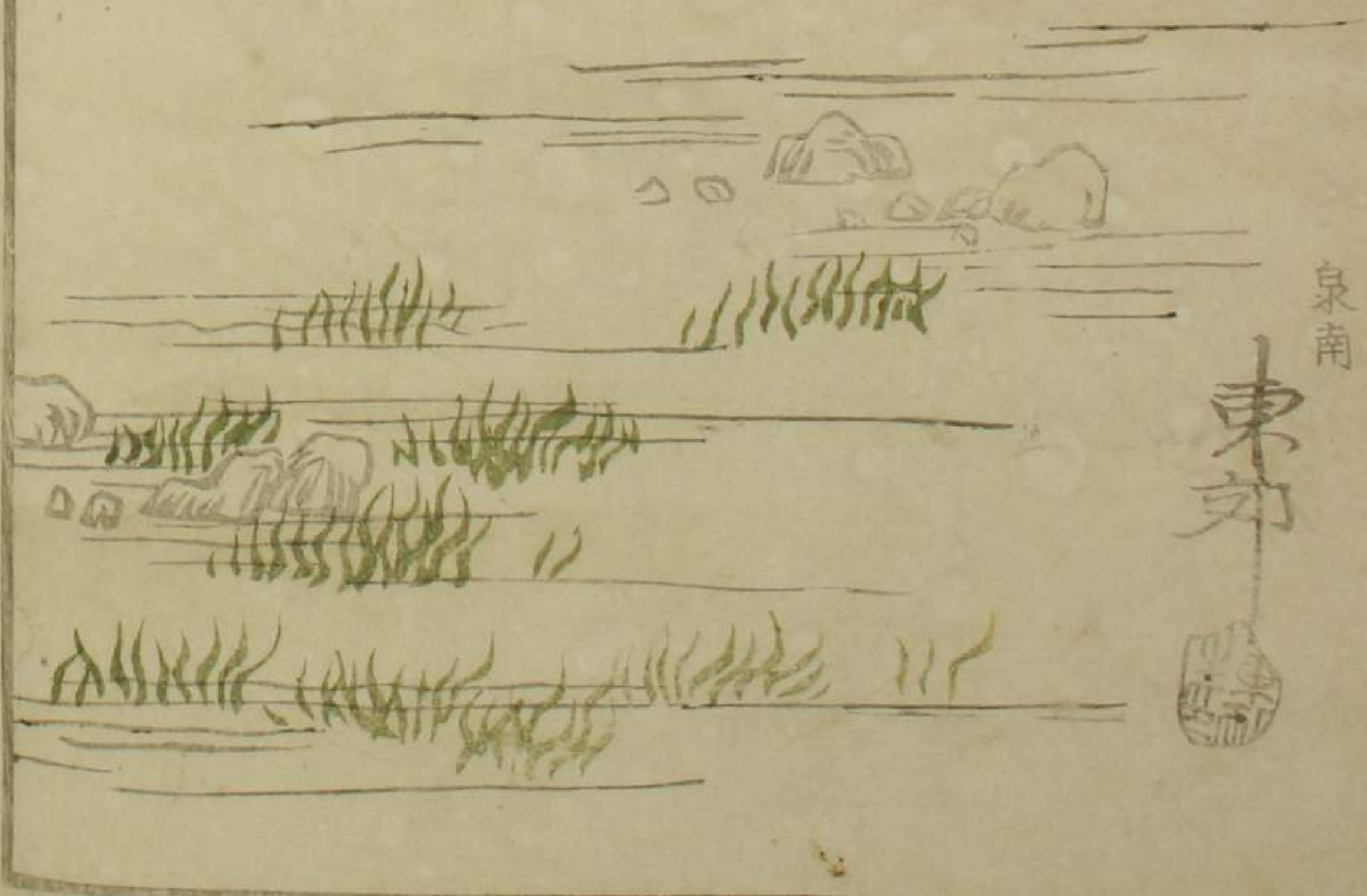
ちぬれ

夕——ほ

山岸和田をぞく

泉南

清室



泉南

東郊



泉南 徳子



泉松茸



泉南 景弘

けしきまあつち

まびやく

あまのつら

とふよつたけり

色そ

のとけさ

泉南

兼川一漢



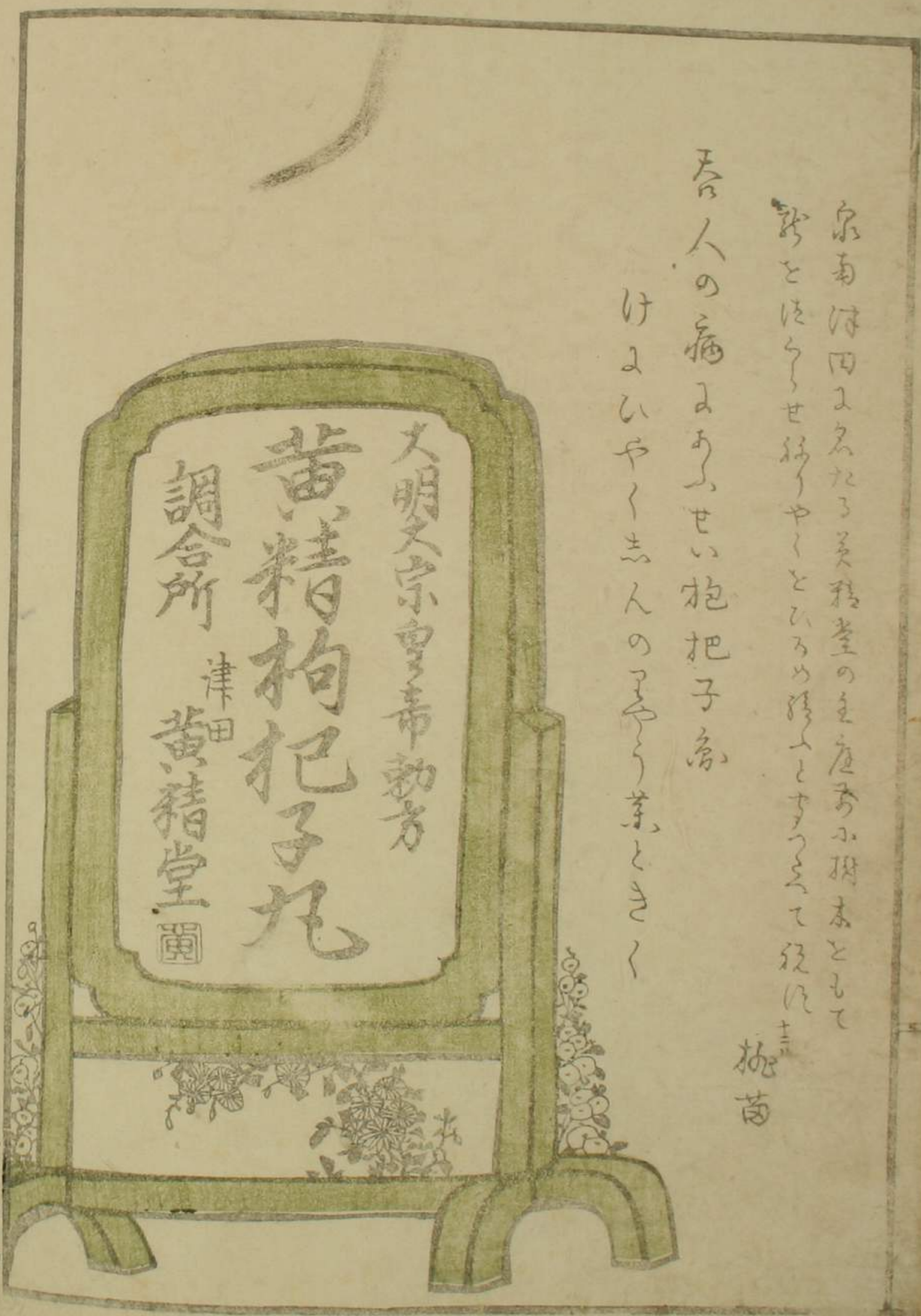
父鬼松花  
木積タバコ

泉南村田よ名たる其精堂の主人亦樹本として  
世と伝へし世傳やくとひるめ終ふとすつて後世

桃苗

吾人の病よふせい抱杷子丸

けよいやく志人のまろく業ときく



大明文宗皇帝勅方

黄精枸杞子丸

調合所

津田

黄精堂





